

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)事後評価書

旭川市中心市街地における
都市機能や交通結節機能の充実

ほっかいどうあさひかわし
北海道旭川市

令和7年3月

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 旭川市地域振興部都市計画課	事後評価の実施時期 令和6年度
	公表の方法 市ホームページにより公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	1・7地区優良建築物等整備事業が完了し、新たに151戸の住宅及び商業施設が整備されたことによる居住人口及び買物公園の歩行者通行量の増加のほか、バス待合いとして利用できる公開空地の運用が開始されることによる公共交通利用者の利便性及び満足度の向上が見込まれる。また、滞在空間創出試行事業により、買物公園の歩行者通行量の増加に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	老朽化が進み、空きテナントが増加していた商業ビルが更新され、耐震化された建築物が整備されたことにより、安全な市街地環境や良好な景観の形成に寄与している。
○特記事項（今後の方針等）	
新たな賑わいが中心市街地全体に広がるように、官民が連携して空きビルの更新や低未利用地の利活用を継続し、土地の高度利用促進と恒常的な賑わい創出を図っていく。また、来街者の利便性や回遊性を増進し、買物公園の歩行者通行量の増加や市民が賑わいを感じられる中心市街地を目指していく。	

○目標値の達成状況

番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	買物公園の歩行者通行量		
	最 終 目標値	140800人／日	1・7地区優良建築物等整備事業の完了後間もないことから、本事業で整備された施設建築物による新たな賑わい創出の効果は未だ発現されていないが、新型コロナウイルス感染症の拡大や、昨今の商業施設の閉館や営業規模縮小などにより減少していた歩行者通行量が、コロナ禍後は来街者や観光客の増加に伴い回復傾向にある。今後、本事業の住環境整備による居住人口の増加に加え、商業施設の開業やバス待ち環境の向上により、さらなる歩行者通行量の増加が見込まれる。
	最 終 実績値	102766人／日	
2	公共交通体系の充実等の満足度		
	最 終 目標値	27%	目標達成に至らなかった大きな要因は、新型コロナウイルスの影響による公共交通利用者の大幅な減少や乗務員不足により、運行便数が減少したため、当初現況値からさらに満足度が低下したと考えられる。バスの運行状況がわかるサイネージを設置した公開空地の運用が開始されることにより、利用者の利便性及び満足度が向上することが見込まれる。
	最 終 実績値	19%	
3	旭川市中心市街地活性化基本計画に定める中心市街地区及び北彩都あさひかわ地区の人口		
	最 終 目標値	11000人	1・7地区優良建築物等整備事業の完了後間もないことから、本事業で整備された施設建築物による居住人口は増加しておらず、当該施設建築物による居住人口を推計した中心市街地区及び北彩都あさひかわ地区の推計値（10759人）においても最終目標値に達していない。主な要因としては、本事業による居住人口増加は見込まれるものの、本市全体の人口減少に伴い、中心市街地区及び北彩都あさひかわ地区全体の居住人口が減少していることが影響しているものと考えられる。なお、本市全体に比して、中心市街地区及び北彩都あさひかわ地区の人口減少率は低くなっており、居住人口比率は増加していることから、本事業によりまちなか居住が推進されることが見込まれる。
	最 終 実績値	10405人	

(参考図面) 住環境整備事業

